

令和2年11月23日（月・祝）

全国知事会 新型コロナウイルス緊急対策本部（第13回）における丸山知事 発言（要旨）

1. Go To キャンペーン事業について

県として、Go To キャンペーン、Go To トラベルの認識については、今回の政府の修正（対象地域等に係る見直し）は、方向性として正しいと考えている。

オールオアナッシングで、この政策をやる、やらない（0か100か）、という考え方ではなく、Go To キャンペーン等を継続しながら、（感染状況に応じて）どのように修正するか、どのように対象地域等を選んでいくかという、部分的な修正により対応していくという方向性は、正しい選択だと考える。

Go To トラベルの期間については、（販売期間が）1月末までになっているが、中長期的な政策として、延長をきちんと考えていただくことも大事であり、延長後も、同じように、問題が拡大していれば修正を行い、（感染が）小さくなっていけば、対象地域をまた戻していくといった（適切な）形で、延長を考えていただきたい。

2. 感染状況について

現在の感染状況をどう見るかについて、今回の特徴は、経路不明者に加えて、家庭内感染と言われる方々の数が多いことである。

家庭内感染は、その一つ前（の感染経路）が追えていなければ、厳密には感染経路不明と同じ、という評価をすべきではないかと考えている。

家庭内感染は感染経路不明と同じだと捉えれば、東京の金曜（20日）の数字は、（実質、感染経路不明者が）79%ぐらい、8割近いような数字になっているという捉え方もでき、大変憂慮すべき状況である。

家庭内感染のうち、一つ前の感染経路が追えないものは、感染経路不明と扱って評価をし、実態よりも深刻に捉えるべきではないかと考えている。そういう意味で、東京など、感染が拡大している地域の評価をきちんとすることが大事であり、各地域では、一生懸命取り組む余地がまだ多いと思っている。

そして、もう一つは、感染経路不明者がこれだけ多いという状況においては、（今後、）入院や療養の待機者が増えていくことへの対応が、また生じるのではないかと懸念があるので、そういう意味でも、感染拡大地域における一層の取組をお願いしていかなければいけないと考えている。

各知事と政府の連携は大事であり、特に、感染拡大地域と政府については、緊密に連携し、不足しているところ、国の支援を求めなければいけないところを、きちんとコミュニケーションをとり、感性拡大防止に努力をすることが大事である。